



躍進する 女性陣

第535回

中古トラックやリビルトパーツを手がけるリトラスの福井支店(福井県越前市)で営業を担当する鶴見舞さんと藤井郁弓さんは、昨年4月に同期入社した期待の新星だ。

リトラス
藤井郁弓さん、鶴見舞さん

藤井さんは高校卒業後に入社。「就職活動では製造関係の会社を探していたが、同じことの繰り返し

返しよりは、違うことをやる仕事の方が向いているのではないかと考えた」とし、「先生に勧められて」同社を選んだ。もともと「車には興味

がなく知識もなかった」が、入社後に業界やトラックについて勉強。いまでは「高速を走っていると、『あれは高年式車だ』と目が行くよ

うになった」という。一方、大阪の大学を卒業後、福井へUターン就職した鶴見さん。もともと「たしかに仕事は大変。『向いていない仕事だったら辞めて次を探せば』と簡単に言う友人もいるけど、ここを辞めたら、これ以上良い人

性が出ただけで怒られるという理不尽な目に遭うこともあったというが、「ほとんどは『女性らしいね』と興味を持っていただけ。いまは分からないことがあっても無理せず、すぐにベテランの先輩に電話を代わってもらっているが、ゆくゆくは自分一人に対応できるようにになりたい」

裏切られ、その居心地の良さが仕事をがんばるモチベーションにもなっている。「たしかに仕事は大変。『向いていない仕事だったら辞めて次を探せば』と簡単に言う友人もいるけど、ここを辞めたら、これ以上良い人

ちに出会えないと思う。仕事がキツくても、人に恵まれていたら続けられる」

現在2人とも、「知識を付ける段階」。それでも月間で10台前後を売り上げ、少しずつ名指しで電話がかかってくるようになってきているという。鶴見さんは、「大きな目標というものはないが、目の前のことを確実に、それを長く続けられたら」と静かな闘志を燃やす。

同期入社 の期待の新星

2人とも「同期の存在が何より大きい」とし、お互いが「彼女がいなかったら辞めていたかも」と笑う。仕事の合間の雑談が息抜きタイムだ。(大西友洋)